

あかつき



写真：創作活動(瑞穂町福祉作業所さくら)

スポット

- ・令和2年度事業計画
- ・令和元年度事業報告
- ・職場紹介 授産所作業部二課
- ・研修委員会発足
- ・新人紹介

第79号 二〇二〇年九月十一日発行
 発行／編集 社会福祉法人あかつきコロニー
 〒二〇八〇〇三三 東京都武蔵村山市伊奈平一―六四―一
 ☎〇四二―五六〇―七八四〇
<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

令和2年度事業計画

【はじめに】

国は、地域行政の第6期障害福祉計画（令和3年度～令和5年度）の策定に向けての基本指針をまとめた。その中に、就労継続支援事業所の一般就労への移行率の目標値が示されており、3年間で就労継続支援A型からの一般就労率を2019年度の1.26倍、同じくB型のそれを1.23倍以上とすることを挙げている。雇用型事業所であるA型に対して国が雇用者の転職を促すよう求めているのと同じで、B型に対しては本来の目標である工賃向上に加えて一般就労という二つの実績を求めることとなり、現場はより厳しい対応が課せられるようになる。来年度に控えている報酬の見直しに今回示された指針がどう影響するのか、その他にも食事提供体制加算の行方など運営に大きくかわる問題であり、今後の動向に注視したい。

【福祉事業活動】

施設経営面では施設経営面では、各事業で求められる実績が基本報酬に直結する仕組みとなっており、就労移行支援事業では就職率の向上、就労継続支援事業B型では工賃の向上が収入増に繋がる。就労移行支援・就労定着支援セルフあかつきでは就労実績、就労継続支援B型あかつき授産所、就労継続支援B型スペース・まどかでは利用者工賃の底上げを目指しつつ、それぞれ、利用率の向上に向けて取り組んでいく。

各現場の虐待防止マネージャー委員が中心となり、日々の支援の中で虐待の予防、虐待を見逃さない体制を浸透させ、利用者が安心して利用できる施設を目指す。

職員の資質向上を目指し、法人内部での研修の体制作りを行

い、継続的な実施を目指していく。法人施設の建て替えに向け、事業の見直しも含めた具体的な構想に取り組み。令和6年度の建て替えを目指し、建替え計画に着手していく。

【就労支援事業活動】

印刷事業は引き続き縮小を進めていく。オイルエレメント事業は納品や品質管理を徹底し、引き続き取引先から信頼が得られるよう取り組む。その他、収益増と安定した事業確保を目指し、新規事業の導入に向けた検討を進めていく。ウエス事業は作業の効率化と経費削減に努め収益増を目指し受注量を確保する。まどか作業部門は、ここ数年の好調を維持・向上に取り組む。瑞穂町福祉作業所に於いても新規事業の開拓と売上増を目指し取り組む。また、各事業所で取り組んでいる自主製品の販売促進を進めていく。

利用者工賃の向上の為に、事業内容の見直しや作業量の確保は勿論のこと、利用者の意欲、やりがいを支えることも重要で

ある。利用者の可能性を見つけ伸ばしていく視点と工夫を怠らないよう支援に取り組んでいく。

また、施設外就労や武蔵村山市との委託契約による紙おむつ給付事業は一般就労に向けた就労訓練としても有効な事業となっている。利用者のスキル向上と一般就労への更なる意欲に繋がるよう、取り組みを続ける。

【地域福祉】

瑞穂町との指定管理契約のもと、運営開始から11年目の就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所は利用者の情操を養うことにも力点を置き活動を行う。同じく運営開始から5年目の瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみは、障がい児を対象としたタイムケアでは新たに帰りの送迎サービスを実施する。また、介助を伴う障がい者を対象とした地域活動支援センターでは個々の目標に応じた支援の提供を行う。

あかつきコロニー相談支援センターは、地域の福祉サービス利用者のニーズに応えられるよ

う、地域、関係機関と連携し、その機能を果たしていく。

引き続き武蔵村山市、瑞穂町の障害者就労支援センターはそれぞれの自治体と受託契約の下、地域の障がい者雇用のニーズに対応する。就職実績を重ねると同時に、仕事を継続していくための定着支援、生活支援にも力を入れて、障がい者が安定して働いていけるよう支援する。

その他、自立支援協議会や障害支援区分審査会への委員派遣を継続するとともに、自立支援協議会の各部会にも積極的に関わっていく。また地域の関係団体と連携し、地域の障がい者児の生活がより豊かとなるよう福祉サービスの充実を図っていく。また、地域貢献事業として地域子供交流会、生活困窮者等の就労準備支援を実施する。



令和2年度あかつきコロニー予算書

自2020年4月1日 至2021年3月31日

法人全体

(単位：千円)

勘定科目		本年度予算	前年度予算	差異
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	95,260	97,303	△ 2,043
	障害福祉サービス等事業収入	331,684	319,169	12,515
	生活保護事業収入	400	400	0
	その他の事業収入	200	760	△ 560
	借入金利息補助金収入	23	29	△ 6
	経常経費寄附金収入	270	260	10
	受取利息配当金収入	45	44	1
	その他の収入	743	973	△ 230
	事業活動収入計(1)	428,625	418,938	9,687
	支出			
	人件費支出	267,284	254,562	12,722
	事業費支出	31,796	30,851	945
	事務費支出	27,811	25,913	1,898
就労支援事業支出	95,260	97,303	△ 2,043	
支払利息支出	27	34	△ 7	
その他の支出	200	200	0	
事業活動支出計(2)	422,378	408,863	13,515	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,247	10,075	△ 3,828	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	0	0	0
	設備資金借入金収入	0	0	0
	その他の施設整備等による収入	0	0	0
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	792	792	0
	固定資産取得支出	0	0	0
その他の施設整備等による支出	0	114	△ 114	
施設整備等支出計(5)	792	906	△ 114	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 792	△ 906	114	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	0	0	0
	拠点区分間繰入金収入	2,150	9,300	△ 7,150
	サービス区分間繰入金収入	4,160	4,254	△ 94
	その他の活動による収入計(7)	6,310	13,554	△ 7,244
	支出			
	積立資産支出	2,000	12,000	△ 10,000
	拠点区分間繰入金支出	2,150	9,300	△ 7,150
サービス区分間繰入金支出	4,160	4,254	△ 94	
その他の活動による支出計(8)	8,310	25,554	△ 17,244	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 2,000	△ 12,000	10,000	
予備費支出(10)	3,455	165	3,290	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△ 2,996	2,996	

前期末支払資金残高(12)	0		0
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	△ 2,996	2,996

令和元年度事業報告

当法人は半世紀以上の間、主に就労を通じて障がい者の自立を支える事業を行ってきた。設立時より現在の姿になるまでに制度や社会の変化に合わせて法人も変化していった。今もまた、超高齢社会の中で起こり得る地域の障がい者への様々な影響や課題に対して、どのような形で応えていくか考えながら、社会福祉法人としての使命を果たしていかなければならない。今後、変わらなければならないことと変えてはならないことの判断を誤らない様、法人創設時の意思を受け継ぎ、時代やニーズに合わせた事業継続と地域福祉の発展に貢献していけるよう、尽力する。

年度末より、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が徐々に現れはじめた。一般就労を目前に話が保留になったケース、就労支援事業の請負業務の減少、行事の延期または中止等様々な形でその影響は出てきており、先行きが見えず今後も更なる影響が懸念される。また、年度が変わり早々に緊急事態宣言が発令されてからは、利用者で在宅の可能な方には自宅待機や在宅支援への切り替えを行い、通所サービスを必要としている利用者者は、感染防止対策を行ったうえで各事業所の状況にあわせて受け入れを行っている。今後も行政の動向を見ながら適切な対応が求められる。

【福祉事業活動】

セルプあかつきでは前年度就労実績により当年度基本報酬単価が上がったこと、スペース・まどかでは利用率が上がったことが障害福祉サービス等事業収入の増収（前年度比）に繋がった。一方であかつき授産所、瑞穂町心身障害者（児）福祉セン

ターあゆみは利用率の減少、あかつきコロナー相談支援センターは当年度から対象の報酬改定による基本報酬単価減額が影響し障害福祉サービス等事業収入が減収（前年度比）した。

法人全体では資金収支差額では459万円、事業活動増減差額が1,434万円となった。修繕や建替えの為の積立資産として合計1,200万円を計上した。

一般就労者数は、スペース・まどかから2名、あかつき授産所から1名と、合計3名であった。人事考課制度により半年に一度、各職員と上位職員が個別面談を通して、業務上の課題や目標を確認した。

法人施設に於いては、合同でリスクマネジメント委員活動を行い、リスク発生状況の把握とリスク対応について検討を行った。通所時の見守り支援を実施した。

虐待防止への取り組みとして、虐待防止チェックリストの活用や虐待防止マネジャーによる会議の実施、虐待防止員会を開催した。職員の育成・資質向上に向けた法人内研修の継続的な実施を目

指し、研修委員会を立ち上げた。年度中の研修実施には至らなかったが、課題を共有し次年度以降の実施に向け検討会を重ねた。

【就労支援事業活動】

就労支援事業は、法人全体で事業活動増減差額が11万円だった。内訳は、あかつき授産所が145万円、スペース・まどかが△38万円、瑞穂町福祉作業所が5万円、セルプあかつきが△99万円、瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみが△2万円となった。

印刷事業は引き続き事業の縮小を進める中で前年度と変わらない収益を上げた。軽作業を行う作業部3課では洗濯作業が安定且つ売上を大きく伸ばし事業の柱となっている。また、瑞穂町福祉作業所では自主製品制作の本格的導入に向け、試作段階から福祉まつり等で販売を行い、製品への反応を見ながら検討を進めた。就労継続支援B型のあかつき授産所と瑞穂町福祉作業所に於いて利用者の平均工賃を上げることができた。

【地域福祉】

瑞穂町との指定管理契約のもと、心身障害者（児）福祉センターあゆみの運営を開始し4年が経過した。運営も落ち着き信頼関係も固まった中、地域活動支援センター事業において、支援計画に於ける個別目標を明確化し、これを基に利用者支援を行った。またタイムケア事業では次年度からの帰り送迎の実施に向け瑞穂町と検討を進めた。

また、運営10年目で当年度が定管理契約の最終年度にあたる瑞穂町福祉作業所は、新たに5年間の指定管理契約を瑞穂町と結んだ。開設して7年が経過したあかつきコロナー相談支援センターでは、高齢化による新たな課題の顕在化、ご家族の抱える課題等、複雑で困難な対応ケースも多かった。計画等の作成数は366件だった。内65件が障がい児だった。

武蔵村山市障害者就労支援センターとらいは3月末現在登録者数が363名となった。新規登録は46名だった。就職者は29名となった。瑞穂町障害者就労支援センターは、3月末現在の

登録者は135名となった。新規登録者は8名だった。就職者数は11名出すことができた。両センターにおいて前年度に比べ、就労に係る支援件数が減少した一方で、生活に係る支援が増加しており、生活課題の対応への比重が大きくなりつつある。

地域の取り組みとして、地域の自立支援協議会とこれに付随する専門部会への職員派遣、武蔵村山市障害支援区分審査会（介護給付費等の支給に関する審査会）への職員派遣、各関係機関や団体との連絡会や会議への参画を通して地域のニーズや課題の共有を図り、地域福祉の向上に努めた。

また、公益的な取り組みとして、例年通り地域子ども交流会を実施した他に、瑞穂町にて生活困窮者等の相談支援の実施機関と連携し、当法人の障がい者就労支援の専門性を生かして生活困窮者等の就労準備の支援を実施、また、瑞穂町の3つの事業所では地域福祉ニーズを拾い上げることを目的とした「福祉くらしの相談窓口」として地域公益活動に参加した。

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	152,220,451	146,219,961	6,000,490	流動負債	38,680,058	36,719,249	1,960,809
現金預金	112,313,927	116,630,889	△ 4,316,962	事業未払金	11,907,442	12,773,320	△ 865,878
事業未収金	9,341,018	8,105,831	1,235,187	その他の未払金	18,322,216	19,606,688	△ 1,284,472
未収金	33,729,880	31,563,316	2,166,564	1年以内返済予定設備資金借入金		792,000	△ 792,000
受取手形	654,060	548,192	105,868	未払費用	2,959,339	2,489,176	470,163
商品・製品	699,100	1,002,496	△ 303,396	預り金	31,436	28,801	2,635
原材料	2,094,598	2,400,238	△ 305,640	職員預り金	52,527	3,695,067	△ 3,642,540
立替金	524,218	561,592	△ 37,374	賞与引当金	12,750,000	12,020,000	730,000
前払費用	176,552	63,210	113,342	その他の流動負債	△ 7,342,902	△ 14,685,803	7,342,901
仮払金	30,000	30,000		固定負債	3,168,000	3,168,000	
その他の流動資産	△ 7,342,902	△ 14,685,803	7,342,901	設備資金借入金	3,168,000	3,168,000	
固定資産	267,157,020	261,372,329	5,784,691	負債の部合計	41,848,058	39,887,249	1,960,809
基本財産	203,916,701	208,738,244	△ 4,821,543	純 資 産 の 部			
土地	92,920,862	92,920,862		基本金	156,178,608	156,178,608	
建物	110,695,839	115,517,382	△ 4,821,543	基本金	156,178,608	156,178,608	
基本特定積立資産	300,000	300,000		国庫補助金等特別積立金	110,498,177	115,011,490	△ 4,513,313
その他の固定資産	63,240,319	52,634,085	10,606,234	国庫補助金等特別積立金	110,498,177	115,011,490	△ 4,513,313
構築物	2	2		その他の積立金	58,791,748	46,791,748	12,000,000
機械及び装置	549,307	1,296,121	△ 746,814	備品購入積立金	13,184,337	10,184,337	3,000,000
車輛運搬具	5	5		修繕積立預金	33,838,886	26,838,886	7,000,000
器具及び備品	3,891,485	4,629,440	△ 737,955	人件費積立金	2,468,525	2,468,525	
権利	177,714	177,714		施設整備積立金	9,000,000	7,000,000	2,000,000
備品購入積立資産	13,184,337	10,184,337	3,000,000	基本特定積立金	300,000	300,000	
修繕積立資産	33,838,886	26,838,886	7,000,000	次期繰越活動増減差額	52,060,880	49,723,195	2,337,685
人件費積立資産	2,468,525	2,468,525		次期繰越活動増減差額	52,060,880	49,723,195	2,337,685
施設整備積立資産	9,000,000	7,000,000	2,000,000	(うち当期活動増減差額)	14,337,685	7,988,820	6,348,865
長期前払費用	130,058	39,055	91,003	純資産の部合計	377,529,413	367,705,041	9,824,372
資産の部合計	419,377,471	407,592,290	11,785,181	負債及び純資産の部合計	419,377,471	407,592,290	11,785,181

資金収支計算書

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

第1号第1様式
(単位:円)

勘定科目		予算	決算	差異	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	97,303,000	96,751,650	551,350
		障害福祉サービス等事業収入	319,169,000	319,328,551	△159,551
		生活保護事業収入	400,000	309,460	90,540
		その他の事業収入	760,000	651,760	108,240
		借入金利息補助金収入	29,000	28,935	65
		経常経費寄附金収入	260,000	219,269	40,731
		受取利息配当金収入	44,000	6,907	37,093
		その他の収入	973,000	883,941	89,059
		事業活動収入計(1)	418,938,000	418,180,473	757,527
	支出	人件費支出	254,562,000	252,676,424	1,885,576
		事業費支出	30,851,000	28,578,671	2,272,329
		事務費支出	25,913,000	20,824,200	5,088,800
		就労支援事業支出	97,303,000	98,050,587	△747,587
		支払利息支出	34,000	34,167	△167
その他の支出		200,000	220,554	△20,554	
事業活動支出計(2)		408,863,000	400,384,603	8,478,397	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		10,075,000	17,795,870	△7,720,870	
施設整備等による収支	収入	その他の施設整備等による収入		39,055	△39,055
		施設整備等収入計(4)		39,055	△39,055
	支出	設備資金借入金元金償還支出	792,000	792,000	
		固定資産取得支出		326,150	△326,150
		その他の施設整備等による支出	114,000	130,058	△16,058
		施設整備等支出計(5)	906,000	1,248,208	△342,208
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△906,000	△1,209,153	303,153
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計(7)			
		積立資産支出	12,000,000	12,000,000	
	支出	その他の活動支出計(8)	12,000,000	12,000,000	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△12,000,000	△12,000,000	
	予備費支出(10)		165,000		165,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△2,996,000	4,586,717	△7,582,717	
前期末支払資金残高(12)			118,909,978	△118,909,978	
当期末支払資金残高(11)+(12)		△2,996,000	123,496,695	△126,492,695	

事業活動計算書

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

第2号第1様式
(単位:円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	差異	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	96,751,650	99,253,948	△ 2,502,298
		障害福祉サービス等事業収益	319,328,551	315,320,999	4,007,552
		生活保護事業収益	309,460	288,230	21,230
		その他の事業収益	651,760	159,480	492,280
		経常経費寄附金収益	219,269	325,924	△ 106,655
		サービス活動収益計(1)	417,260,690	415,348,581	1,912,109
	費用	人件費	253,406,424	251,222,119	2,184,305
		事業費	28,578,671	28,260,771	317,900
		事務費	20,824,200	23,602,509	△ 2,778,309
		就労支援事業費用	99,026,745	103,171,946	△ 4,145,201
		減価償却費	6,265,331	6,792,937	△ 527,606
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 4,513,313	△ 4,973,227	459,914
		サービス活動費用計(2)	403,588,058	408,077,055	△ 4,488,997
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		13,672,632	7,271,526	6,401,106	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	28,935	35,307	△ 6,372
		受取利息配当金収益	6,907	6,096	811
		その他のサービス活動外収益	883,941	951,973	△ 68,032
		サービス活動外収益計(4)	919,783	993,376	△ 73,593
	費用	支払利息	34,167	41,691	△ 7,524
		その他のサービス活動外費用	220,554	234,382	△ 13,828
		サービス活動外費用計(5)	254,721	276,073	△ 21,352
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	665,062	717,303	△ 52,241
経常増減差額(7)=(3)+(6)		14,337,694	7,988,829	6,348,865	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益		145,800	△ 145,800
		特別収益計(8)		145,800	△ 145,800
	費用	固定資産売却損・処分損	9	9	
		国庫補助金等特別積立金積立額		145,800	△ 145,800
		特別費用計(9)	9	145,809	△ 145,800
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 9	△ 9		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		14,337,685	7,988,820	6,348,865	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		49,723,195	50,234,375	△ 511,180
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		64,060,880	58,223,195	5,837,685
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金積立額(16)		12,000,000	8,500,000	3,500,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		52,060,880	49,723,195	2,337,685

財 産 目 録
令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—	運転資金として	—	—	112,313,927
事業未収金		—	就労支援事業収入未収金	—	—	9,341,018
未収金		—	3月分 訓練等給付費	—	—	33,729,880
受取手形		—	就労支援事業収入未収金	—	—	654,060
商品・製品		—	就労支援事業商品棚卸し	—	—	699,100
原材料		—	就労支援事業材料棚卸し	—	—	2,094,598
立替金		—	3月分 水道光熱費 他	—	—	524,218
前払費用		—	保険料	—	—	176,552
仮払金		—	3月分 諸経費	—	—	30,000
その他の流動資産		—		—	—	△ 7,342,902
流動資産合計						152,220,451
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	法人本部拠点4		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	92,920,862		92,920,862
建物	法人本部拠点7、あかつき授産所拠点1		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	385,993,499	275,297,660	110,695,839
基本特定積立資産			基本財産として保有する	—	—	300,000
基本財産合計						203,916,701
(2) その他の固定資産						
構築物	避難用ブリッジ あかつき授産所拠点	—	第二種社会福祉事業であるあかつき授産所に使用	675,000	674,998	2
機械及び装置	四色機等 計35点	—	事業運営に使用	107,995,638	107,446,331	549,307
車輛運搬具	計5台	—	利用者送迎、就労支援事業用	9,860,124	9,860,119	5
器具及び備品	PC、空調設備等 計55点	—	事業運営に使用	23,294,933	19,403,448	3,891,485
権利	電話加入権	—	事業運営に使用	—	—	177,714
備品購入積立資産	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械等の購入・交換の目的のための積立	—	—	13,184,337
修繕積立資産	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械・建物等の修理・修繕の目的のための積立	—	—	33,838,886
人件費積立資産	多摩信用金庫 残堀支店	—	給与及び賃金等、職員処遇に必要な経費に充てるための積立	—	—	2,468,525
施設整備積立資産	りそな銀行 村山支店	—	将来における建物建替えの目的のための積立	—	—	9,000,000
長期前払費用		—	保険料	—	—	130,058
その他の固定資産合計						63,240,319
固定資産合計						267,157,020
資産合計						419,377,471
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—	3月分 水道光熱費 他	—	—	11,907,442
その他の未払金		—	3月分 水道光熱費 他	—	—	18,322,216
未払費用		—	3月分 水道光熱費 他	—	—	2,959,339
預り金		—	3月分 雇用保険料	—	—	31,436
職員預り金		—	3月分 社会保険料 他	—	—	52,527
賞与引当金		—		—	—	12,750,000
その他の流動負債		—		—	—	△ 7,342,902
流動負債合計						38,680,058
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—		—	—	3,168,000
固定負債合計						3,168,000
負債合計						41,848,058
差引純資産						377,529,413

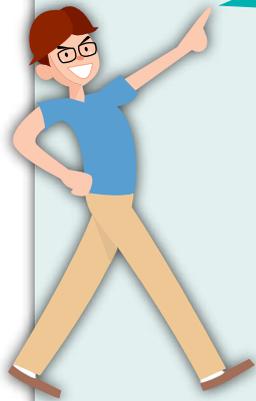
事業所紹介 作業部二課

作業部二課は現在16名の利用者さんが在籍し、3つの作業室に分かれて20種類以上のウエスを作っています。

作業部二課が普段どのような作業をしているかわからない方も多いと思いますのでウエスの商品が出来上がるまでを紹介していきたいと思います。



1 ウエスの原料を仕入れます



ウエスの原料は小さい物で100 kg以上、大きな物で200 kg以上の重さになります。

2 ウエスを裁断します



ウエスの種類やお客様の要望によりウエスの大きさや形が変わります。



3 裁断したウエスの重さを量ります



基本は2 kgですがウエスの種類により重さが変わってきます。

4 ウエスを丁寧に包みます



各ウエス専用の木枠を使いウエスを1枚1枚丁寧に包みます。

5 包んだウエスを専用のビニール袋に入れます



ウエスにより大きな袋や段ボール箱に入れることもあります。

作業部二課

主任 森田 和広

以上が作業部二課の作業になります。少しはイメージ出来ましたか？利用者さん達の丁寧な作業でウエスの商品はとても綺麗でお客様の評判もとても良いです。これからも利用者さん、職員で協力して頑張っていきたいと思っております。

14 精神業務連絡会 (熊谷・富田)

メンタルヘルス研修 (永井)

17 就労バスポートワーク ショップ (細川)

18 武蔵村山市相談支援部会 (神山)

瑞穂町就労部会 (戸村)

19 防犯講習会(あゆみ・さくら) ゼンコ理事会・総会 (高橋 20日迄)

26 武蔵村山市日中活動部会 (永井・小俣)

3 月 17 武蔵村山市相談支援部会 (神山)

26 武蔵村山市日中活動部会 (永井・小俣)

6 月 12 精神業務連絡会 (藤澤・富田)

25 就労ネットワーク会議 (小林・西出)

29 瑞穂町社福法人連絡会・ 全体会 (高橋)

7 月 8 じゅさんれん企画委員会 (熊谷)

10 精神業務連絡会 (藤澤・富田)

31 瑞穂町自立支援協議会 (高橋・戸村)

入所・退所

入所

1月	高橋 悦子(まどか)
2月	田鍋 宜宏(セルプ)
3月	金田 邦宏(授産所)
4月	鈴木 康生(まどか)
5月	高橋 亮太(セルプ)
6月	五十嵐 柊哉(セルプ)
7月	新井 聖斗(セルプ)
8月	石垣 怜良(授産所)
9月	橋本 達典(まどか)
10月	篠原 薫(さくら)
11月	林田 健一(とらい)
12月	吉田 ロバート(さくら)
1月	荻部 雅子(授産所)

退所

1月	磯 重男(まどか)
2月	大橋 英夫(授産所)
3月	佐久間 峻(さくら)
4月	黄川田 格(まどか)
5月	中見川久美子(さくら)
6月	白井 秀子(さくら)
7月	宮下 誠一(さくら)
8月	加藤 美南(あゆみ)
9月	小池 志織(あゆみ)
10月	北澤 礼子(まどか)
11月	大野 浩二(とらい)
12月	高橋 美智(授産所)
1月	高橋 昌直(まどか)
2月	青木 章三(まどか)
3月	伊藤 実(セルプ)
4月	小山 恵理香(セルプ)
5月	松岡 勲(まどか)
6月	石川 明(あゆみ)
7月	糸永 康秀(授産所)

寄贈

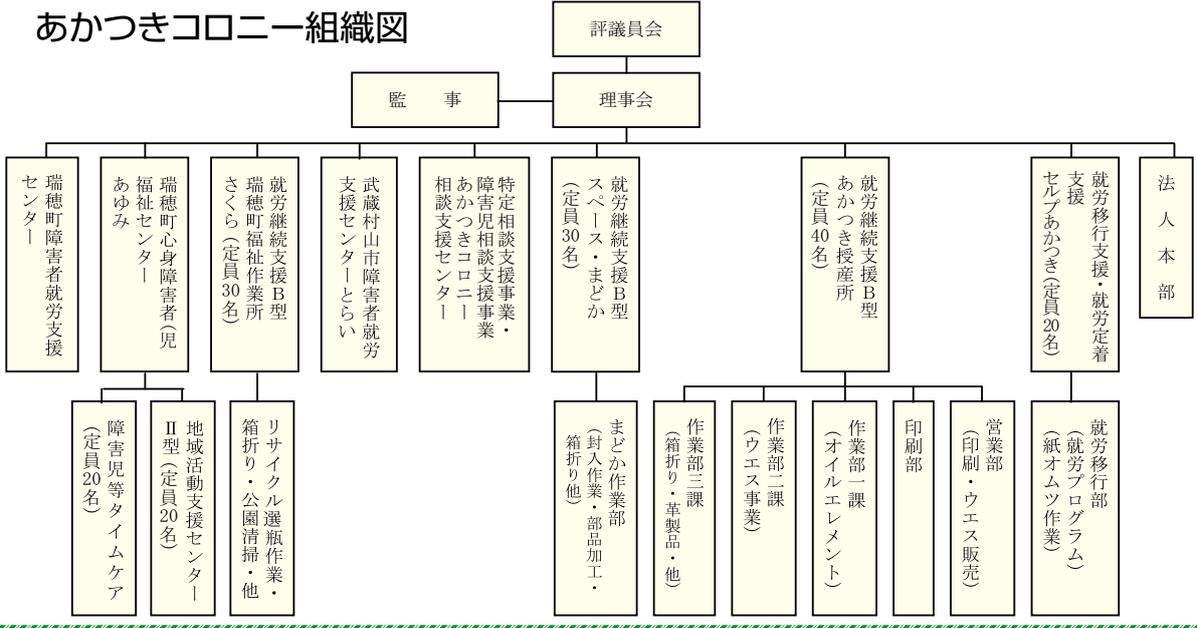
2月13日、トラック協会様より図書カード、空気清浄機のご寄贈を頂きました。謹んで御礼申し上げます。

訃報

あかつき授産所
大橋 英夫さん(2月29日)
スペース・まどか
黄川田 格さん(3月21日)
高橋 昌直さん(5月5日)
松岡 勲さん(7月14日)
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



あかつきココニ一組織図



役員・評議員

理事	鈴木 賢一
理事長	高橋 毅
常務理事	湯澤 弘
監事	飛鷹 実
評議員	赤澤 正補
	岩瀬 香世
	栗原 康明
	川崎 忠正
	浅川 勤
	小峯 邦明
	前崎 一郎
	田代 政和
	岩瀬 成朋
	熊谷 昌博
	永井 眞